

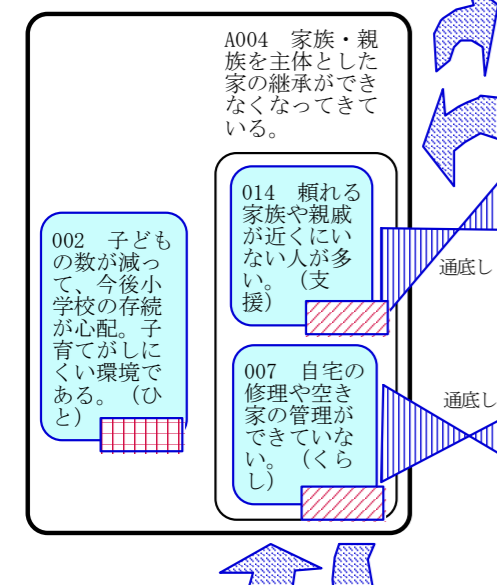
# 校区で生活するなかで、どのお困りごとがありますか？ 「質問1の項目」から浮かび上がる校区の姿

## 榕城校区：全体集計

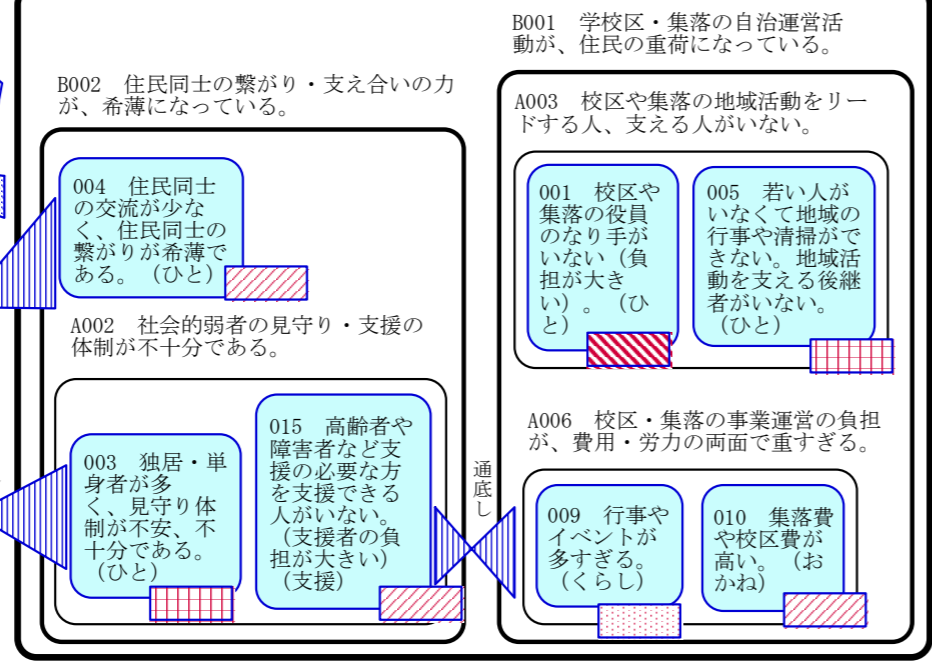
## 2 地域共同体：解体の危機

### 1 家と地域社会：継承の危機

B003 家族・親族を主体とした家と地域社会の継承ができなくなっている。



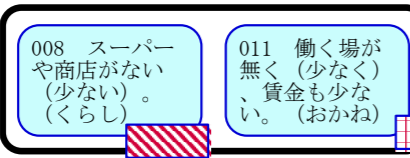
C001 学校区・集落の地域共同体が、解体の方向に傾きつつある。



相互に悪循環サイクルをなし

### 3 生活と生計：消滅の危機

C002 地域住民の生活と生計を支える産業が少ない。



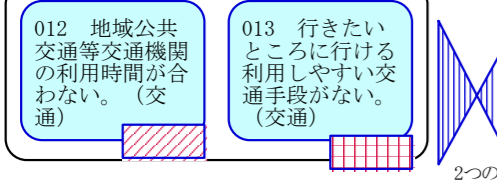
■アンケート集計結果

ランク	得点幅	模様
A	857~1,070	■
B	643~856	▨
C	429~642	▧
D	215~428	▩
E	1~214	░

(最高得点：1,066点)  
(回答者数：1,601人)

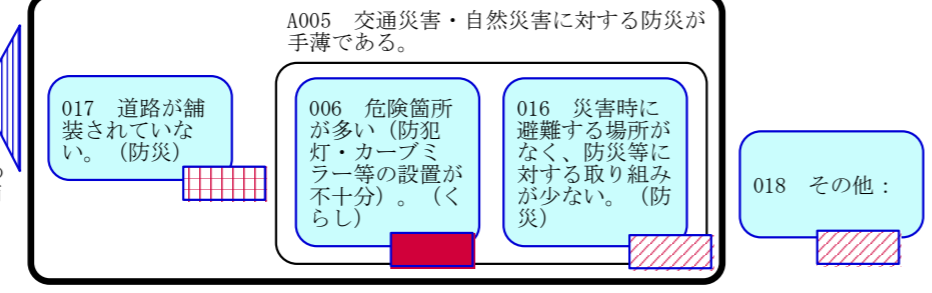
### 4 交通手段：不便

A001 交通手段の利便性が悪く、望む行動が制約される。



### 5 防災対応：手薄

C003 道路基盤整備を含めた交通災害・自然災害に対する防災が手薄である。



(1) 2021年7月7日  
(2) 情報工房  
(3) 校区アンケート「質問1」の質問17項目  
(4) 山浦晴男  
注1) 文頭の数字は、質問項目の番号を示す。  
注2) 文頭のアルファベットは、階層構造の段階を示す。  
注3) 左上の丸数字は、分析結果の解説のストーリーの流れを示す。

# 榕城校区「地域づくりアンケート」回答結果

(2023年4月アンケート)

## 【分析結果】

「質問1の項目」(校区での生活の困りごと)から浮かび上がった校区の姿は、次のようである。「家と地域社会」「地域共同体」「生活と生計」の3つの要素が、相互に悪循環サイクルをなしている。第1の「家と地域社会」は、「継承の危機」にある。家族・親族を主体とした家と地域社会の継承ができなくなっている。第2の「地域共同体」は、「解体の危機」にある。学校・集落の地域共同体が、解体の方向に傾きつつある。第3の「生活と生計」は、「消滅の危機」にある。地域住民の生活と生計を支える産業が少ない。これらによって立つ基盤には、2つの側面がある。一方は「交通手段」で、「不便」である。交通手段の利便性が悪く、望む行動が制約される。もう一方は「防災対応」で、「手薄」となっている。道路基盤整備を含めた交通災害・自然災害に対する防災が手薄である。以上のように、現在の困りごとをそのまま放置すると近い将来、校区の地域社会の存続が危ぶまれる状況におかれていることが、浮かび上がった。